



オリーブ栽培者のための情報誌

# 九州オリーブ通信

**Vol. 15**

トピックス

## 収量アップサポート大作戦

### オリーブ樹1本から10kgの収穫を実現するために

“樹は大きくなり実も採れているけれど、まだ目標の収穫量には達していない” “予定通り収穫できているので、このペースを維持していきたい” という各地の生産者さんの声を受けて、特に栽培に熱心な弊協会の会員お三方のオリーブ園で、「収量アップサポート大作戦」を行っています。

熊本県、大分県、山口県での作戦の様子を参考にして、ぜひ収穫量の増加を実現してください（P.2～3に続く）。



▲収穫量を増やすために日々、努力、試行錯誤されている日本全国の熱心なオリーブ生産者を応援する特集です！



# “収穫量を増やす”。農業の永遠のテーマに取り組んでいます



物価高、欧州の凶作、円安による輸入オリーブオイルの高騰は国内のオリーブ生産者にとって追い風かもしれません。農業経営の根幹となる収穫量を今こそ増やすべく、行政、団体、個人の生産者への弊協会の取り組みを紹介します。

## 山口県熊毛郡 平生町

栽培本数：385本  
植樹時期：2020年173本、2021年146本、2022年66本  
過去の最大収穫量：約300kg



▲オリーブ栽培で最も重要といえる定植前の堆肥、苦土石灰、ようりん、ボラ土などによる土壌改良(左)と、排水溝造設等による排水性の向上。栽培開始前からのコンサルタント契約指導で万全を期しました

▲作業の手順や分担、勤務時間帯を工夫して効率的な栽培管理を実践中。写真左、中央は地域おこし協力隊員。右は現場スタッフ



◀イタリアをテーマとしたまちづくり「イタリアーノひらお」を推進する平生町。町有地を活用したオリーブモデル農園は町民の方々の散策の場でもあり、除草作業は欠かせません



▲適切で根気強い管理により植えた翌年から徐々に結実し始めました。植樹2年後の2022年の10月には収穫と搾油の体験イベントを実施。多くの町民の皆さんが参加されました。2024年も多くの花芽を確認済み

## 上園 満雄 (熊本県荒尾市)

栽培本数：約140本  
植樹時期：2010年  
過去の最大収穫量：約600kg



▲時間の許す限り圃場を見回る上園さん。樹の異変や病虫害に早期対処するうえで大切なことです  
▼春の施肥は最重要。年間必要量の半分を施用



▲イタリア人技術者を招いた剪定講習で技術を吸収します。右端が上園さん  
▼数年間の無剪定で日照不足、病虫害、風害が発生した圃場に、学んだ技術を実践



▶オーガでの縦穴掘りで排水性を向上

▼つばみの時期、結実促進のために動力噴霧機でホウ素を葉面散布します



## 合同会社かなび (大分県宇佐市)

栽培本数：約250本  
植樹時期：2016年  
過去の最大収穫量：約520kg



▶合同会社かなびの皆さん(左の3名)とロベルト・ベッカーロさんファミリー  
◀(最上段)樹冠の内部に光と風が入るロベルトさんの剪定



▶オリーブアナアキゾウムシ防除の肝はこまめな見回りによる早期の発見と対応  
▼2019年の台風17号での深刻なオリーブ樹倒伏被害を受けて設置した防風ネット



▼樹が枯死した場合は、原因特定、土壌消毒のために伐根しています



▲オリーブの木を使ったシカなどでリフレッシュ

## 国産オリーブの収穫量が10年間で4.5倍

### 【香川県以外が約1割に】

国産オリーブの生産量が増えています。農林水産省によると、全国の収穫量は2021年産が596トン。10年前の4.5倍になりました。2011年には小豆島を有する香川県産が国産出荷量の99%以上を占めていましたが、その後、東日本を含む全国各地に産地が拡がり、2021年産では香川県以外が約10%を占めるようになってきました。栽培面積をみると2021年は527ヘクタールで、10年前の2.5倍に増えています。

### 【輸入オイルの価格高騰が追い風か】

欧州での2年連続のオリーブの記録的な不作などを背景に、国内のオリーブオイル販売会社は2022年から複数回値上げを実施。2024年5月も最大手の日清オイリオグループが家庭用を23~64%、業務用を60~80%値上げしました。輸入品と国産品の価格差が縮まるなか、これまで輸入オイルを買っていた消費者に国産オイルを選んでもらえる可能性は十分にあります。

【参考】「日本農業新聞」2024/5/11

オリーブのお問合せ

“オリーブ樹を植えたい”“肥料や病虫害を知りたい”“栽培カレンダーが欲しい”“樹は大きいけど実が生らない”“実の加工を教えて”“大きなシンボルツリーが欲しい”“コスパが良いオリーブオイルを使いたい”など、何でも右記まで。

一般社団法人九州オリーブ普及協会(KOA)  
Eメール support@kyushu-olive.or.jp  
電話 092-738-9975 FAX 092-738-9987



Italian olives in Japan  
イタリア産オリーブ in 日本

岡山県倉敷市

- 栽培者: 茅野 英二
- 植樹時期: 2017年9月

コーヒー店の前に置いていたオリーブの鉢植えが実を付けたのを見て、オリーブオイルを作りたいと思いました。一昨年より実が取れるようになり(約 200kg)、昨年は約 500kg 収穫することができました。今後が楽しみです。



▲収穫は大変だがスタッフで協力して作業できて良かったという茅野さん

大分県津久見市

- 栽培者: 上杉 豊史
- 植樹時期: 2021年4月～

実家のある津久見市のみかん畑も、生産者の高齢化に伴って年々荒廃しており、少しでも活用できればと思いオリーブの栽培を始めました。少しずつ樹々も育ってきています。



▲ちらほらと花芽も確認できるようになってきたオリーブの樹



▲上杉さん。徐々に栽培量を増やそうと考えています



▲コーヒー店内でオリーブオイルを販売。今後はオイルを使ったスイーツ等を作る予定

京都府宮津市

- 栽培者: 前田 純・直子
- 植樹時期: 2019年4月から毎年4月

冬には雪の日が多く1mを超える積雪の日もあり、オリーブにとっては厳しい環境ですが、大地にしっかりと根を張り元気に育っています。この眺望を活かして観光農園にも取り組んでいます。



▲600本のオリーブを栽培されている前田ご夫妻



▲日本三景、天橋立を一望するオリーブ園



▲雪国でもしっかりと実を成らせて奮闘中！

イタリア産オリーブ 九州栽培マップ

(2024年6月2日現在)



- ▲ 100本未満
- ◆ 100～999本
- 1,000本以上
- ◎ KOA 育樹場 (熊本県荒尾市、約1万5,000本)

▼イタリア産オリーブ樹

青森県	12本
宮城県	2,602本
秋田県	8本
福島県	3本
茨城県	391本
栃木県	3本
群馬県	2本
埼玉県	615本
千葉県	347本
東京都	247本
神奈川県	233本
新潟県	約1,000本
福井県	648本
山梨県	5本
長野県	8本
岐阜県	7本
静岡県	13,091本
愛知県	7本
三重県	4本
関西地区	3,814本
鳥取県	132本
岡山県	775本
広島県	19本
山口県	17,744本
香川県	1,402本
愛媛県	10本
韓国・済州島	16本

※栽培本数の修正、栽培地の追加などがありましたらKOA(092-738-9975)へご連絡ください

長野県下伊那郡喬木村

- 栽培者: 中野 克也・あかね
- 植樹時期: 2018年10月

2023年、農業体験もできる「古民家民宿オリーブ」を併設しました。寒冷地での安定生産は難しいので、果樹栽培が盛んでオリーブがとても珍しい地域の特徴を活かし、宿泊のできる小さな農園を目指しています。



▲冬はマイナス10度を下回る信州の地でオリーブ栽培(露地80本)に挑戦中です



▲中野ご夫妻。こちらも寒冷地でもしっかりと実を成らせて奮闘されています！



お知らせ

# オリーブジャパンからのご案内

2024年  
9月30日迄の  
期間限定

## オリーブ化粧品を "お試し特別価格" で販売します

### 暑さ厳しい夏。 しっかりお肌を潤して乗り切りましょう

#### ● 5種類のセラミド

つけ心地はさっぱりとしながらも、きちんと潤いのある肌へと導きます。

#### ● フラーレン

ビタミンCの約170倍と言われる抗酸化力で活性化酸素を吸着し、酸化を防ぎます。

#### ● 植物幹細胞

新陳代謝を促し、新しい細胞が生まれるのを助けます。

#### ● パラベンフリー

#### ● アルコールフリー

敏感肌の方も使用できる自然派化粧品です。



### NIPPON OLIVE LAB

モイストローション120ml ..... 税込4,400円

マイルドウォッシュ100g ..... 税込2,200円

※上記は別途送料がかかります

さらに試しやすいセット特別価格!

**1セット 税込3,850円(送料無料)**

ご注文はこちらからどうぞ

<https://olive-japan.shop/>



レポート

## 「春のオリーブイベント」を開催しました!

**春のオリーブイベント 開催!**  
～オリーブのこと何でもやります～

**とき** 2024年4月6日(土) 9:30～12:00 (受付開始 9:00) **参加無料!**

**ところ** 福岡市博多区西月隈5-12-7(オリーブ加工センター) **粗品進呈!**

- 国産とイタリア産 オイル飲み比べ無料  
自社搾油の九州産と トスカーナの提携農園産
- オリーブを介した つながり作り  
地域おこし、仲間や 生きがいづくり
- 栽培者同士の 情報交換  
栽培方法、加工方法、 販売方法の情報ゲット!
- 大鉢オリーブで 剪定、栽培講習  
240ℓ大鉢オリーブ樹を 使って剪定、栽培を指導
- 搾油機を前に 搾油工程の説明  
大小搾油機2台のほか、 搾油様子も見学可能
- 国産とイタリア産 オイル特価販売  
最少な国産と本場の風味を イベント限定特価で!
- オリーブ化粧品 特価販売  
九州産オリーブオイルを使用した 化粧品と洗顔フォーム
- 大小オリーブ苗 特価販売  
樹高3mから30cmまで、 品種も色々取り揃え

2024年4月6日、春のオリーブイベントを主催しました。弊協会の会員さんをはじめ、大勢のオリーブ愛好家の皆さんに集まっていただき、大盛況となりました。日本とイタリアのオリーブオイル味比べも大好評!



▲搾油機を前に搾油工程の説明



▲特大鉢のオリーブで剪定の解説



▲九州産オリーブオイル使用の化粧品



▲トスカーナ産オリーブオイルも人気!



▲オイル瓶詰め、塩漬け袋詰め展览展示



▲大小取り揃えた苗木が特別価格!

#### 申込方法

チラシ裏面の参加申込書にご記入のうえ、メール添付、Faxのいずれかで送ってください。受付後、当方より連絡します。

E-mail: [support@kyushu-olive.or.jp](mailto:support@kyushu-olive.or.jp) Fax: 092-738-9987

申込締切 2024年3月29日(金) 午前中 ※申込多数の場合は先着順  
問合せ先 上記メールアドレスかFaxまで  
主催 (一社)九州オリーブ普及協会 (KOA)、関オリーブジャパン



## 「秋のオリーブイベント」開催のお知らせ

【とき】2024年11月9日(土) 予定

【ところ】福岡市博多区西月隈5-12-7(オリーブ加工センター)

【お問合せ】[support@kyushu-olive.jp](mailto:support@kyushu-olive.jp)

**イベントでオリーブ商品を出品販売できます!!**

出品希望の方は2024年9月30日までに左記へお問合せください  
希望者多数の場合は先着順となります



# KOAが取り扱うイタリア産オリーブ苗木のメリット

## 本場の品種の潜在能力と、10年以上の日本での栽培実績が融合

世界中で愛用されている高品質でバラエティ豊かなイタリア産のオリーブオイル。そのオイルを生み出す本場の優秀な品種。数ある品種の中から、KOAが持つ10年以上の日本各地の情報を基に、優れた栽培実績を示している品種を厳選しています。

## 育成指導から実の買い取りまで、KOAの苗木は会員サポート付き

栽培指導で実がなるまでフォロー。実が採れたら、ご希望の量を KOAグループが相場価格で買い取ります。加工料のみで KOAグループのオリーブ加工センターでオリーブオイルや新漬けにすることもでき、会員様の様々なニーズに応えます。

## KOAが取り扱うイタリア産オリーブ苗木



### フранトイオ

- 油用
- 油含有率 20~23%

トスカーナの代表品種。世界各地でも栽培されている。オイルはフルーティ(刺激あり)かつ良質。香りも高い。



### レッチーノ

- 食用・油用
- 油含有率 17~22%

寒さ、病気に強い。オイルはマイルドで、果実風味は少ないが爽やかな味わい。



### タツジャスカ

- 食用・油用
- 油含有率 23~26%

潮風に強い。トスカーナ州の北西、リグーリア州原産。オイルはマイルド。塩水漬けも人気がある。



### レッチョ・デル・コルノ

- 食用・油用
- 油含有率 19%

寒さ、病気、害虫、乾燥に強い。適応性が高い品種。オイルはややフルーティ(刺激あり)で良質。



### ペンドリーノ

- 油用
- 油含有率 22~23%

花粉が多い受粉樹。オイルの風味は繊細で美味。樹形は開帳型。霜が降りたような外果皮が特徴。



### マウリーノ

- 油用
- 油含有率 20~21%

花粉が多い受粉樹。干ばつ、低温に強い。典型的なトスカーナオイルを構成する品種。



### コラティーナ

- 食用・油用
- 油含有率 21~26%

初結実までの年数が短い。イタリア南部のプーリア州原産。オイルはフルーティ(刺激あり)で、ポリフェノールが多い。



### コレッジョーロ

- 食用・油用
- 油含有率 15~18%

初結実までの年数が短い。フранトイオと遺伝子が近い。中部イタリアで多く栽培。オイルはフルーティ(刺激あり)。

※油含有率はVIVAI PIETRO PACINI社(イタリア)資料による



## 第8回 カイガラムシ

カイガラムシは、カメムシ目ヨコバイ亜目腹吻群カイガラムシ上科に分類される昆虫の総称。植物の幹、枝、茎、葉、果実などに寄生。口針を組織に突き刺して篩管液を摂取したり、細胞などを破壊・吸収したりする。食害により生育阻害、変形果が発生。貝殻に似たもの、白や赤のもの、定着型、移動型等多種多様。カイガラムシの排泄物は糖分を大量に含むことが多く、これを栄養源とするすす病の発生を誘発する。

【発生時期】 5月上旬～10月上旬

【防除方法】●捕殺…見つけ次第、指や歯ブラシでこそぎ落とす ●薬剤散布…「モベントフロアブル」。希釈倍数：2000倍 使用液量：200～700L/10a 使用時期：収穫7日前まで。但しオリーブの葉を収穫する場合は収穫90日前まで 使用回数：2回以内 ●予防…直射日光が当たらない部位で寄生、繁殖しやすいので、枝葉の量を適切に剪定



▲枝に多発すると枝が枯死することもある



▲葉に寄生するトビイロマルカイガラムシ



▲集団化しやすいクワシロカイガラムシの雄。オリーブでは幹、枝へ寄生する

## 編集後記

陽当たりと水はけが良い場所に植え、適時かつ適切に病害虫を防除し、必要な肥料を与えれば、国内でも安定してオリーブの果実を収穫できる。設立以来、弊協会が考えてきたことです。また、その方向性で栽培されている生産者の方々ほど、収穫の秋に嬉しい悲鳴

をあげています。さらに一步進んで、“安定的かつ豊かな収穫”への取組を紹介する協会設立15周年記念号の特集です。(Shin)



## 九州オリーブ通信 Vol.15 (2024年 6月2日発行)

発行者：百 富 孝 行

発行所：一般社団法人九州オリーブ普及協会(KOA)

〒810-0044 福岡市中央区六本松2-13-5 イーエム六本松駅前4F

TEL: 092-738-9975 FAX: 092-738-9987

HP: <http://kyushu-olive.or.jp/> email: [support@kyushu-olive.or.jp](mailto:support@kyushu-olive.or.jp)